

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分
 【発行日】平成28年4月7日 (2016.4.7)

【公表番号】特表2015-506866(P2015-506866A)
 【公表日】平成27年3月5日 (2015.3.5)
 【年通号数】公開・登録公報2015-015
 【出願番号】特願2014-551542(P2014-551542)
 【国際特許分類】

B 6 0 S 1/08 (2006.01)

【F I】

B 6 0 S 1/08 A

【誤訳訂正書】

【提出日】平成28年2月16日 (2016.2.16)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

残留水分を払拭するために、疎水性コーティング（3）を備えた透明なガラス（2）を洗淨及び乾燥させるための方法であって、

車両エンジン（7）を停止した後で、前記ガラス（2）の外面（I）上の水分量を測定し、一定の水分量又は除去すべき水分量が存在する場合に、少なくとも 1 分の待機時間（W）の経過後に、少なくとも 1 回の払拭過程を実施するようにし、

前記水分量を、レインセンサ（5）によって測定し、前記待機時間（W）を、タイマーによって計測し、

ステップ A）前記タイマーをリセットし、

ステップ B）ワイパースイッチ（4）を検査し、ここで、

前記ワイパースイッチ（4）がスイッチオンされている場合には、前記ステップ A）を実施し、又は、

前記ワイパースイッチ（4）がスイッチオフされている場合には、以下のステップ C）を実施し、

ステップ C）前記レインセンサ（5）を検査し、ここで、

前記ガラス（2）が乾燥している場合には、前記ステップ A）を実施し、

又は

前記ガラス（2）が濡れている場合には、以下のステップ D）を実施し、

ステップ D）前記レインセンサ（5）を検査し、ここで、

新たな雨滴が検出される場合には、前記ステップ A）を実施し、

又は

新たな雨滴が検出されない場合には、以下のステップ E）を実施し、

ステップ E）前記タイマーを検査し、ここで、

前記タイマーが、前記待機時間（W）よりも短い持続時間を設定している場合には、前記ステップ B）を実施し、

又は

前記タイマーが、前記待機時間（W）よりも長いか等しい持続時間を設定している場合には、以下のステップ F）を実施し、

ステップ F）少なくとも 1 回の払拭過程を実施し、さらに前記ステップ A）を繰り返す

ことを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記払拭過程を、ワイパー制御部（6）によって制御する、請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

1 回から 10 回の払拭過程を実施する、請求項 1 又は請求項 2 記載の方法。

【請求項 4】

前記払拭過程を、1 分から 30 分の待機時間（W）の経過後に実施する、請求項 1 から 3 いずれか 1 項記載の方法。

【請求項 5】

前記払拭過程の前又は前記払拭過程中に、前記ガラス（2）に洗浄液を噴霧するためのウインドウォッシャーシステム（8）をスイッチオンする、請求項 1 から 4 いずれか 1 項記載の方法。

【請求項 6】

前記車両エンジン（7）が停止してからの持続時間又はイグニッション電子スイッチがスイッチオフされてからの持続時間が、最大で 120 分の場合にのみ、前記払拭過程が実施される、請求項 1 から 5 いずれか 1 項記載の方法。

【請求項 7】

残留水分を払拭するために、疎水性コーティング（3）を備えた透明なガラス（2）を洗浄及び乾燥させるための装置であって、

少なくとも、

前記ガラス（2）の外面上に設けられたワイパー（12）と、ワイパーモーター（11）とを備えた、払拭過程を実施するためのワイパー装置（9）と、

前記ガラス（2）の外面上の水分量を測定するためのレインセンサ（5）と、

前記ワイパー装置（9）及び前記レインセンサ（5）に接続されたワイパー制御部（6）と、

待機時間（W）を計測するタイマーと、を含んでいる装置において、

前記ワイパー制御部（6）が、車両エンジン（7）の停止後で、少なくとも 1 分の前記待機時間（W）の経過後に、一定の水分量又は除去すべき水分量が存在している場合に、少なくとも 1 回の払拭過程を実施するように構成されており、

ステップ A）前記タイマーがリセットされ、

ステップ B）ワイパースイッチ（4）が検査され、ここで、

前記ワイパースイッチ（4）がスイッチオンされている場合には、前記ステップ A）が実施され、又は、

前記ワイパースイッチ（4）がスイッチオフされている場合には、以下のステップ C）が実施され、

ステップ C）前記レインセンサ（5）が検査され、ここで、

前記ガラス（2）が乾燥している場合には、前記ステップ A）が実施され、

又は

前記ガラス（2）が濡れている場合には、以下のステップ D）が実施され、

ステップ D）前記レインセンサ（5）が検査され、ここで、

新たな雨滴が検出される場合には、前記ステップ A）が実施され、

又は

新たな雨滴が検出されない場合には、以下のステップ E）が実施され、

ステップ E）前記タイマーが検査され、ここで、

前記タイマーが、前記待機時間（W）よりも短い持続時間を設定している場合には、前記ステップ B）が実施され、

又は

前記タイマーが、前記待機時間（W）よりも長い等しい持続時間を設定している場合には、以下のステップ F）が実施され、

ステップ F）少なくとも 1 回の払拭過程が実施され、さらに前記ステップ A）を繰り返

されることを特徴とする装置。

【請求項 8】

前記疎水性コーティング (3) は、フッ素化アルキルシランコーティングを含む、請求項 7 記載の装置。

【請求項 9】

前記疎水性コーティング (3) は、二酸化シリコン SiO_2 と、A 1, B, C 及び Zr のグループからの任意の 1 つ以上の元素を含んでいる、請求項 8 記載の装置。

【請求項 10】

地上、空中、又は、水中及び／又は水上を推進移動するための推進移動手段のフロントガラスに、請求項 1 から 6 いずれか 1 項記載の方法又は請求項 7 から 9 いずれか 1 項記載の装置を使用することを特徴とする使用方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0028

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0028】

さらに、本発明は、本発明による方法または装置を、地上、空气中又は水中および／または水上を推進移動する推進移動手段、特に自動車におけるとりわけフロントガラスやリアウィンドウなどへの使用のほか、機能的および／または装飾的な個別部材としての使用並びに家具、家電製品や建物の組み込み部材としての使用にも関している。